

提案日 2020 年 12 月 25 日

RDUF 部会 提案書

1. 部会名

データ共有・公開制度検討部会

2. 目的

本部会は、「RDUF 研究データライセンス小委員会」による活動の継承と展開を目的とする。具体的には、以下の活動を行う。

- ・「研究データの公開・利用条件指定ガイドライン」の広報活動及び点検・更新
 - － 一定の利用条件下で公開した後のデータの削除や差し替えの取り扱い
 - － 最新動向の取り込み（J-STAGE data など）
 - － 利用条件付与に関する事例の収集など
- ・関連動向の情報共有（ML のほか、不定期での会合を想定）
- ・他の活動体との連携（例：データ流通推進協議会、デジタルアーカイブ学会 法制度部会など）
- ・研究データ利活用に関わる法的・制度的課題に関する論点の検討、体制整備支援
 - － データの品質保証・品質表示
 - － データに関わる倫理的問題 等
- ・上記成果物に関連した学会・セミナー発表
- ・政策提言を見据えたドキュメンテーション作成 等

3. 活動計画

部会の活動はメールベースで行い、不定期にオンラインでミーティングを行う。部会で新たな検討課題が見いだされた場合、必要に応じて別途小委員会を立ち上げ、集中的に調査・議論を行う。活動成果の報告は、RDUF 公開シンポジウム（年1回）をベースとして行う。また、適宜関連イベントへ委員を派遣し、成果報告や知見の共有を行うとともに、企画委員会による了承のもと個別のアドバイザー的な役割も担う。

4. 初期メンバー

南山泰之（大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立情報学研究所）^{1) 2)}
池内有為（学校法人文教大学学園 文教大学 文学部）²⁾
上島邦彦（株式会社日本データ取引所）²⁾
首藤みさき（元三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社）²⁾
岡山将也（株式会社日立コンサルティング）²⁾
山田一作（公益財団法人野口研究所）²⁾
海老沢研（国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所）²⁾
中西穂高（学校法人帝京大学 帝京大学 産学連携推進センター）²⁾
熊崎由衣（国立研究開発法人日本原子力研究開発機構）^{1) 2)}
林和弘（文部科学省 科学技術・学術政策研究所（NISTEP））^{1) 2)}

1) 2020 年度 RDUF 企画委員

2) （前）研究データライセンス小委員会委員

5. 備考

「研究データライセンス小委員会」の成果物である「研究データの公開・利用条件指定ガイドライン」は、既にいくつかの団体（大学図書館系）で同ガイドラインへの言及・活用可能性の検討がなされており、今後同様のチャンネルを通じて活用を呼び掛けていく。さらに、研究データの産業利用等に関する議論にも積極的に参画し、活動成果の社会実装に繋げるとともに、コミュニティの拡大に寄与する。

ガイドラインへの言及・活用可能性の検討例：

- ・国立大学図書館協会. 「研究データのオープン化とそのメリット」

<https://www.janul.jp/ja/news/20200615>

- ・三上 絢子ほか. 学術機関での研究データの公開プロセスに関するワークフローの考案と問題の分析. 研究報告インターネットと運用技術（IOT）. 2020, 2020-IOT-48, no. 26, p. 1-8.

小委員会としての活動実績については、別添の活動報告書を参照されたい。